

みやざき

第17号(平成14年9月 発行)

在京宮崎県人会 TEL 03-3222-1448



平成十三年度

総会を終えて

実行委員長 十口殿敬三

平成十二年の県人会総会が終了し、次の実行委員長をお引き受けしてから企画内容をいろんな人と相談しました。

まず、十二年総会は、都農町出身の河野保人氏によるツイター演奏で、中島実行委員長や河野常任幹事などのご努力により、はじめての試みとして全員が着席し、懇親会にさきだつて真剣にツイターの音色を楽しむことが出来たので、次回も同じように着席して静かに音楽を聴いてから懇親会に入るスタイルにすることを決め、ゲストは毎回総会の司会をしてくださる平野早苗さんの提案で米良美一さんをお願いしてみることにしました。

米良さんへのお願いの手がかりを得るため各方面に当たっていたところ、ある会合で宮崎県土木部の松浦河川課長からご両親が須木村の県営綾北川ダム管理事務所に勤務されているというお話をお聞きし、須木村といえば私の郷里、しかも兄貴が郵便を配達しておりご両親も存じ

上げているという絶好のご縁に恵まれ、早速兄貴に頼んでご両親に息子さんの県人会出演についてお口添えをお願いいたしました。

昨年の一月二十日に新宿のオペラシティで開催された「米良美一リサイタル」に家内とともに出掛け「日本の歌」と愉快なトークに魅せられた後、楽屋で米良さんにお会いし、県人会へのご出演を正式にお願いしたところ「東京にそんな県人会があつてですか、親からも聞いていたので喜んで参加させてもらいますが」と気持ちよくお引き受け頂いたときは、まさに天にも昇る気持ちでした。

総会通知に米良さん出演も書き添えて案内し、例年より多くの出席者になると予想されたので、宮崎県東京事務所の池田課長や県人会の長倉事務局長等とのアルカディアでの打合わせでも会場をロビーまで広げたり、料理を増やすなど準備に忙殺されましたが嬉しい悲鳴といったところでした。

総会直前には米良美一さん、国信マネージャーとの打合わせに池田課長と共に「浅草ビューホテル」に行きましたが、

ふるさと宮崎とご両親をこよなく愛され、親しみやすいお人柄の米良さんに接することが出来、帰りにはたくさんさんのサインまで頂いて意気揚々と帰ったものでした。

総会当日はお天気にも恵まれ、例年より約八十名多い三百二十一名の出席となり、米良さんの曲目は①歌曲「愛するすずかけの木」②もののけ姫③里の秋④花、アンコールはワイン片手に熱唱され、世界を代表する県出身のエンターティナーの類まれな歌声は皆の心を魅了してやまなかったようでした。また米良さんは宮崎弁が大変上手で洒落なトークでも皆を引きつけて会場は「じゃがじゃが」という雰囲気笑い絶えず大変盛り上がりおりました。

このように米良さんのふるさと宮崎を愛するお気持ちと奉仕の精神により十三年総会が成功裡に終了でき、実行委員長として肩の荷を下ろしましたが、実行委員各位をはじめご協力頂いた関係各位に改めて深甚のお礼を申し上げる次第であります。

米良美一さんには今年二月の新宿オペラシティのリサイタルに再び家内と聴き

に行き、樂屋に須木焼酎と日向夏を持参してお礼を申し上げましたが、今後一人のファンとして末永く応援させていただきたいと思ひます。

皆様におかれましても応援のほどよろしくお願い申し上げます。総会のご報告とさせていただきます。

平成十三年度

在京宮崎県人△△△△△△
新生シーガイアに物心両面の協力を！

常任幹事 長倉 祐作

十三年度総会は九月二十八日（金）アルカディア市ヶ谷に於いて、三百数十名の参加のもと盛大に開催されました。

古殿敬三（須木村出身）実行委員長の開会のことばに始まり、日高啓（宮崎市出身）会長の挨拶があり議事に入った。

会長は挨拶で「シーガイアについては、知事さんはじめ県民の皆様そして私達も大変心配しておりましたが、米リップルウッド社の下で新生シーガイアを目指すことになり大変喜ばしい限りでございます



米良さん熱唱

す。ただ再建への道のりは決して平坦ではないと思います。今後も私達一人一人の協力が必要です」と訴えられた。

議事は進行役に古殿実行委員長を選出し、松木國利幹事長（日向市出身）が議案の説明を行った。

先ず第一号議案「平成十二年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告」について、第二号議案「平成十三年度事業計画（案）及び収支予算（案）」について、第三号議案「役員改選について」と議事

が進行され満場一致で可決された。

次はゲストコーナーとなり、西都市出身のテナー歌手米良美一氏が紹介された。米良氏は「もののけ姫」で一世を風靡しルネッサンスやバロックの音楽曲から黒人霊歌ミュージカルナンバー、日本歌曲、ポップスまで歌いこなす、新しいタイプのエンターテナーとして幅広い層の音楽ファンから受けられていますと、プロフィールが紹介され続いて宮崎弁のトークを混えて「里の秋」他六曲が披露された。

更に懇親会に入り松形知事から県政報告を兼ねてご祝辞を賜り、緒嶋県議会議長の音頭で乾杯がされ、来賓の紹介が行われた。

その後「お楽しみ抽選会」が行われ、知事・議長・県内各市町村・緒団体各企業からご寄贈を頂いた品物を当選者に贈呈された。

最後に、日向市長山本孫春氏のご発声で万歳三唱が行われ、永崎常任幹事（えびの市出身）の閉会のことばを以て解散し、参加者全員にお土産が渡され皆満足して帰途についた。

県人会であいたいね



0930 (オクサマ) の紹介

1999年4月結成。

西都原古墳で有名な宮崎県西都市出身の2人組。(児玉美代・梅原恵里)

「0930」という名前の由来は、ポータルである児玉美代が、TVCMで流れる電話番号に「～0930(オクサマ)」という番号があり、これを見て面白さと覚えやすさに感動し、これだ!と思い決定!!

ぞうさん公園をライブハウスとし、ぞうさんのすべり台をステージとして活動していたある日「TEEN'S MUSIC FESTIVAL 全国大会」にオリジナル曲「山田君」で出場。

1度聞いたら忘れられない名曲と強烈なインパクトを武器に2000年7月についてメジャーデビューを果たす。

現在はテレビ・ラジオ・雑誌などで幅広い活動を行っている。

平成十四年度

在京宮崎県人会総会の盛況を期して

実行委員長 永崎秀一郎

初秋の候、在京県人会々員の皆様にはご健勝にてお過しのことと拝察致します。例年になく厳しい今年の夏の暑さでしたが、ようやく涼風が立ちはじめ、総会開催の季節になりました。

開催日、会場は別途ご案内の通りです。昨年度の総会は、もののけ姫主題歌で世

界的に名を馳せた歌手米良美一氏(西都出身)の特別出演もあり大盛況でした。次年度実行委員長のご指名を受けた私としては責任の重大差を痛感し、今年の総会を成功裡に導くことができる為にはどうすべきか思索の結果、芸能界に詳しい

方の助言もあり、二人組女性歌手「0930」(西都出身)の特別ゲスト出演を企画し全力を注ぎました。何度か暗礁に乗りあげましたが、あきらめずに挑戦し出演の運びとなりました。どうか会員の皆様には友人知人と声を掛け合って気楽

にお越し頂きたくお願い申し上げます。

同じ宮崎県人として親しく語り合う年に一回の懇親の場です。

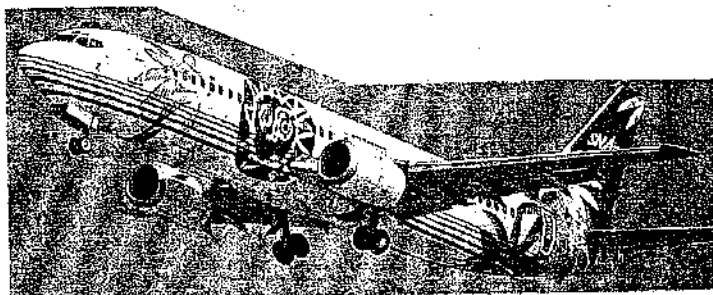
松形知事、緒嶋県議会議長、各市町村長その他大勢の方のご来席を予定しています。郷土色豊かなお楽しみ抽選会もあります。お土産もあります。

在京県人会は会員皆様のものです。どうぞご出席頂き総会を盛況に導いていただきたくお願い致します。

総会当日、皆様にお会い出来るのを楽しみにしてご挨拶とします。

新しい翼

一金会幹事 安藤信一



去る九月六日(金)、

九月一金会が開催され、四十人程参集しました。

テーマは「リージョナルマーケットのトップ

エアラインを目指して」県民の翼としてス

タートしたスカイネットアジア航空株式会社

(SNA) 下田祥司社長を迎えて、今後の抱

負を語っていただきました。八月一日から低

価格の航空運賃で、宮崎—東京線をスタート

する運びになりました。

現在のところ予想を上回る実績を示しております。との現況報告。

先行 エア・ドウ、などの実態を徹底的に調査、分析、研究し、轍を踏んだり二の舞いをしないように心がけています。又低料金、低コストを維持するには他社

9月運航ダイヤ

★東京	SNA111	07:50発→09:25着
	SNA113	10:00発→11:35着
	SNA115	12:40発→14:15着
	SNA117	14:30発→16:05着
↓宮崎	SNA119	17:20発→18:55着
	SNA121	19:05発→20:40着
★宮崎	SNA112	07:50発→09:20着
	SNA114	10:30発→12:00着
	SNA116	12:15発→13:45着
	SNA118	15:00発→16:30着
↓東京	SNA120	16:55発→18:25着
	SNA122	19:40発→21:10着

に業務を委託しないで自社でやっていきたい、と語る。質疑応答の中で安全性の問題で質問がありました。その点については経験豊富なスタッフを配置、万全の体制をとっておりますので、ご心配なく、とのことでした。私達にとって特に関心のある料金の点ですが、満六十五才以上のシニア割引は一万五千円となっていて、身障者割引一万円などもあります。詳しくは、0120・737・283へ。

下田祥司氏 略歴



九州大卒。三井(現三井住友)銀行を経て、八七年スコッツ創立。九九年パンアジア航空支機持ち株会事務局長。同年に社名変更したSNAで営業総務本部長など歴任。本年二月に社長就任。



★宮崎へひとっ飛び。

★くつろぎの広客空間。SNAは、ぐんぐんとワイド。

★東京・宮崎間スカイメイト割引13,000円!

在京国富会の案内

在京国富会会長 井上敏崇氏

在京宮崎県人の皆様、在京国富会の発足と経過を披露してご挨拶に代えさせていただきます。

昭和三十年頃の前半までは故郷から見て東京はとても遠い所でした。鉄道は石炭の時代で急行で三十時間も掛かりました。多くの人が遠隔地の東京よりも近い福岡か大阪に縁を求めたものです。東京に行く事は外国に行くような疎遠感がありました。テレビが普及すると同時に日本経済の拡張期に入り、東京オリンピックを契機に列島は一局集中の現象が起き首都東京に向かう人が増加しました。煤煙にまみれた列車の旅も終り大衆化された航空便を利用する時代が到来すると呆気ない別れとなり方言を聞く機会も少なく見送りデッキで機影に手を振るだけのものとなりました。いつの間にか経済大国の名前は世界に轟きテレビと自動車の普及で生活も派手な消費型に変化し始め、時間も距離感も短縮されました。そして所得倍増の掛け声で新しい夢を持

つ人々が宮崎から進出するに従い県人会は唯一の親睦の場であり、みんなが気楽に集まれる思いがありました。が、以外と敷居の高いものを感じられていた人もあったようでした。次第に近代化した東京で立派に獲得した生活の場を誇りとしたものが表面に出るからか、少なくとも「宮崎弁」が聞けると思っていた人には疎遠感が起こったのかも知れません。

それは地域環境の差であります。身近な人や出来事の話でも少なく離れた距離を意識したもので、そんな時に「在京国富会」の発足の話が出たのは自然な成り行きでした。そして県人会に参加できない人々を拾うのが大きな目的となったのは当然な事であります。始まってみると色々な問題点が浮上しました。その第一は会員の募集でした。この会の存在をどうして伝えればいいのか、孤独な生活者に辿り着ける良い方法が見つからないまま現在も模索中であります。また、簡単な会合をする場所にも難点があります。都心から離れている立川の仮事務所は西武線と立川駅からのバス便を利用するしかなく、気楽に立ち寄れる利便さに欠け

ているのです。

そんな事で平成十一年の県人会で「在京国富会」の発足の話があり、兎に角発足させる事で纏まりました。東京で行われている本庄中学校の一同級会が主体となったもので、初めは十数人程度の人員でしたが新聞の催し覧にも掲載して募集し、何回かの役員の会合を重ねて会員も集まりだし第一回の総会までには五十名程度に膨張したのです。

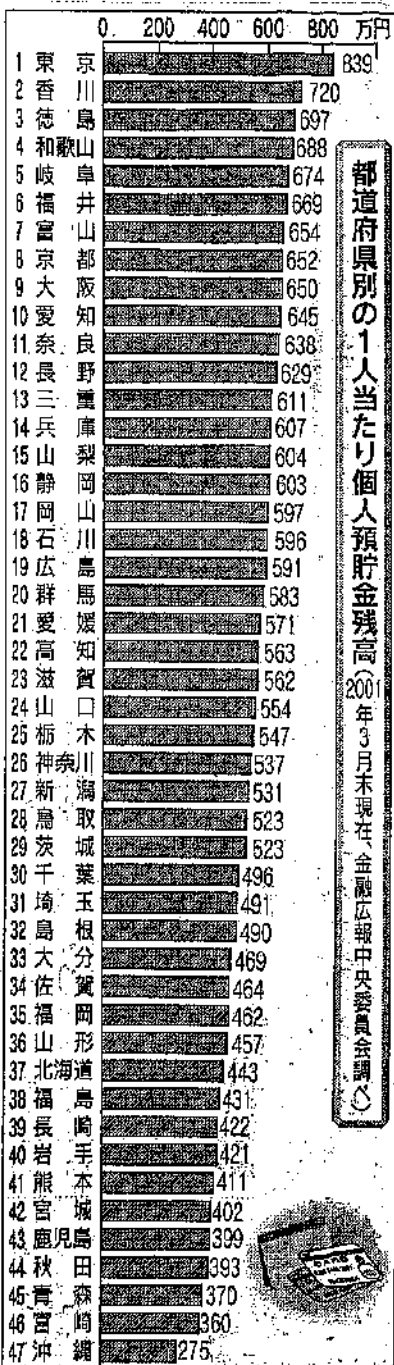
平成十二年の九月九日に品川プリンスホテルで全員に呼びかけて開かれた総会には三十数名が参加して盛況の内に終了しました。郷里からは助役以下数名も急遽上京して懐かしい故郷の現況などの話を聞くことが出来ました。平成十三年の第二回目の総会では第一回の欠点を補足した内容で募集が行われました。その結果、会員は百名を突破し引き続きプリンスホテルの会場で行われました。郷里からは収入役室長はじめ議員の方も参加して戴き約四十数名で遠慮ない「宮崎弁」に大変盛況の内に終了しました。

今年の総会は三井ビルに変更されましたが先年と変わらない盛大さを予定して

わがふるさと

宮崎県を識る

日経新聞(02/4/1) [列島あれこれ番付]



いるもので国富町民の歓呼の声が東京の町に流れてゆくものと確信しています。最後に町の支援に感謝し郷里からの多数のご来客を迎え盛大な総会が行われる事を期待して、この世紀を生き抜いて行く嬉しい県人の方々と関係官庁のご厚意に感謝しながら筆をおきます。

■宮崎歳時記■

十月

鮎やかな開き(延岡市・綾町・北方町)
神門神社まつり(南郷村)
飫肥城下まつり(日南市)
宮崎神宮大祭(宮崎市)
綾・照葉樹林マラソン(綾町)
九州山脈バイクツーリング大会(宮崎市・日之影町)



十一月

椎葉平家まつり(椎葉村)
高千穂夜神楽(高千穂町)
地場産業まつり(都城市)
綾競馬(綾町)
都城スカイプロッサム(都城市)
ダンロップフェニックスゴルフトーナメント(宮崎市)
西都原古墳まつり(西都市)
山之口弥五郎どん祭(山之口町)
十二月
銀鏡神楽(西都市)
被川神楽(高原町)
鹿川の夜神楽(日之影町)
青島太平洋マラソン大会(宮崎市)

みんなでつくる みんなの県人会



参加者全員への手土産準備



在京 宮崎県人会役員 (平成十四年度)

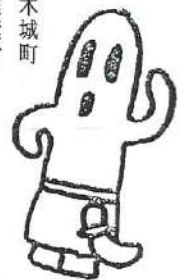
顧問 図師 忠 宮崎市
会長 日高 啓 宮崎市
副会長 桂 弘道 延岡市
加藤 信 都城市
河野俊二 日南市
山口正史 宮崎市
吉田英二 延岡市
松木國利 日向市
安藤信夫 西都市
河野 昭 宮崎市
落合兼人 日南市
中島龍雄 都城市
田原大三 西郷村
假屋宗春 三股町
米良 剛 門川町
永崎秀一郎 えびの市
山下尚生 日向市
古殿敬三 須木村
清水秀一 都城市
黒木 巖 日向市
武田照雄 国富町
高山弘憲 日南市
広島昭夫 宮崎市
松原道一 宮崎市
吉門信夫 延岡市
長倉祐作 都城市

幹事長 常任幹事

柳瀬敏典 宮崎市
和田昌二 日向市
日高貞雄 宮崎市
金丸孝徳 都農町
土工和夫 都農町
泥谷伸彦 木城町
小田 巖 えびの市
青木英明 日向市
池端達郎 宮崎市
泉田 弘 北郷村
植木繁昭 都城市
内村俊雄 都城市
榎本郁夫 延岡市
奥山 豊 南郷村
小島基弘 高原町
落合清利 清武町
田中美智子 須木村
倉元辰雄 三股町
興梠 直 高千穂町
田辺マツ子 えびの市

監事

廣瀬鐵雄 木城町
三谷春義 椎葉村
村田浩平 小林市
森 洋三 都城市
山本千鶴子 門川町
吉岡輝夫 木城町
吉田 正 串間市
會計幹事 北川町
盛武建二 宮崎市
山口 博



柿・栗・梨、澄みきった青空、古里は実りの秋の頃。子供の運動会に、収穫の秋祭りにと人は集い、挨拶を交わし、地域の人同士親睦を深めてきた。互いを知り、理解をし、助け合う、先人の尊い教えだと思ふ。

騒音に欠き消され、気忙しい時間に押されて、つい大切なものを失いがちな都会での暮らしにあって、私達には古里がある。父母が、幼馴染みが居て山川がある。古里人の言葉が、その雰囲気、くたびれた心を癒してくれる。

そんな一時を願って、十月三日(木)今年も県人会総会・懇親会が開かれる。

参加しても、「物足りなさを感じた」「つまらなかった」の声も聞く。役員も一生懸命の奉仕で頑張っています。楽しく有意義な会合にする為に、「みんなで作る、みんなの県人会」へのご参加をお待ちしています。

若山牧水の歌(宮崎県東郷町坪谷出身) ・田・

逢ひてただ微笑みかはしうなづかば足りむ
逢なり逢はざらめやも